



# 善正寺だより

掲示板法話

## 「無常」の涙の中にも 白蓮華の花は咲く

東日本大震災からまもなく三ヶ月目、被災地の方々のご苦労はいかばかりかと案じられます。そんな困難の中、被災者のお一人から「無常」と題された手作りの歌集が届きました。「無常」という題字には、「涙」という小文字できれいに枠がつけられている大変なご労作です。水も電気も不通、その上に頻発する余震の脅威におびえる日々の中で、紙切れの裏にメモしたものを毛筆で清書されたという四十ページにわたる詠歌は、それぞれに仏教徒ならではの薫りが漂ってきます。

より他はなし」という平静な心を取り戻されました。用務で出かけたよその土地でも聴聞の法座を探して歩いたというこの方は、更に安らかな念仏者の心境を次のように詠まれました。

被災地の

瓦礫の中に咲くさくら

生き抜く力

人に与えて

その透徹した金剛の信心の眼は、救済、復旧のために懸命に働く人々の上のみ仏さまのお働きを感得され、仏恩報謝の歌が次々生み出されるのです。

身を捨てて

人を救いし 白蓮華

被災地毎に 咲くは

悲しき

水も火も

灯りもなき日を生かさるる

闇に光の

尊きを知る

念仏し  
ただ念仏し み仏に  
おまかせ申す より  
他はなし

冒頭の歌は震災発生直後の恐怖の感情そのものですが、その恐怖の真つ只中で「ただ念仏し、み仏におまかせ申す

〒:512-0902  
三重県四日市市  
小杉町1014  
浄土真宗  
本願寺派  
善正寺  
TEL:0593-31-1670  
TEL:0593-32-0733

### ☆行事ご案内☆

## ☆門信徒会例会

### 6月19日(日)午後7時半

- ① 東日本大震災被災地から届いた『無常』の歌;ご紹介
- ② 宗祖讃仰作法・音楽法要;本山大遠忌法要等ご紹介  
(インターネット中継録画より)

◇キッズサンガ 6月4日(土)午後4時 お友達誘って来てね  
毎日夕方5時の鐘撞きは誰でもOK 飴ガム付。年中無休

◇三重組コーラス 智積西勝寺様で練習  
6月7日(火)午後1時半、6月27日(月)午後1時半  
☆7/7(土)名古屋別院

音楽祭、バス9時小杉、9時半桜

「仏教讃歌メドレー三重組版」参加費千円、新指導者体制

◇三重組仏教講習会:6月14日(火)持光寺様・15日(水)正覚寺様・16日(木)正念寺様、講師;貴島信行先生

◇一縁会テレホン法話059・354・14543分間法話聞けます

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索。「つれづれ日記」が好評  
長男もブログに参加、4万回4千以上のアクセス達成!毎日60~70の訪問に感謝!HPからのメール、悩み相談など大歓迎!

※10月15日(土)京都西本願寺親鸞聖人750回大遠忌法要  
バス参拝(50名)定員になり次第締め切り。まだ余裕あり。費用8千円を添えてお早めにお申しこみ下さい。宗祖讃仰作法音楽法要でお勤め。住職、若院揃って僧侶として出勤。ご本山のご法要のインターネット生中継が見られます。次回は6/9から6/16

まだまだ紹介し切れぬほどの法味やさしき歌を詠まれたその人は、名取市在住の平成の妙好人、島本邦子様(八十五歳)です。被災地に咲く白蓮華の人と申すほかありません。不思議な法縁で届けられた歌の心を静かに味わいたいと思います。

無量無尽とふりそぞぐ  
悲しみ深き  
人にもれなく

弥陀大悲



若院婚儀の日の喜びの花、花:  
美しく着飾ったご婦人、お嬢さん

# 坊守スケッチ

## 一軒に二つの仏壇どうしよう??



最近は一子同士の結婚が多い。そのため両方の家の仏壇や墓のお守りを、どうしようという相談を受ける。また姉妹だけで嫁ぎ先に実家の仏壇を持っていかねばならないという事例もある。ただでさえ狭い住宅事情。同じ宗派ならば問題は少ないかも知れないが、他宗派の場合、ややこしい。一階で正信偈を勤めて、二階で般若心経を勤めるといふ事態も起こりうる。お墓もいくつもあると、花代もバカにならない。お守りする子孫が大変だ。「もし一つの仏壇にまとめるとすると、処分する仏壇の先祖が、もう一方の先祖に気兼ねして肩身が狭い思いをするのではないか?」と心配する人もいる。でも心配はご無用!お仏壇はご先祖の住まいではない。お仏壇にお参りすることは、ご先祖を拝むことと勘違いしがちだが、本来お仏壇とは、死者を祀る所ではなく、ご本尊である阿彌陀如来様を安置する所。ご先祖はどこにいるかといえば、お浄土に還られ、阿彌陀様と同じ仏様になられた。お浄土は、他人と私の垣根はなく、『俱会一処』(くえいっしょ)「ともに同じところで会う場所」と味わいたい。つまりお仏壇は、ご先祖のためにあるのではなく、現在生きている私のためにある。そういう意味で私の仏壇、あな

たの家の仏壇と区別する必要はない。家族が心を一つにしてお参りやお守りをしやすいように、お仏壇は一家に一つでよいと思う。では仏壇を処分するには、どうすればいいか?先ずお寺に相談してお参りをする。最終処分は仏壇屋さんにお願ひする。仏壇やお墓を新しくする時には「性入れ」ではなく「入仏法要」。逆にお別れする時には「性抜き」ではなく「遷座法要」と言う。またお仏壇の中にいくつもの位牌が入っているのは好ましくない。位牌は全て過去帳に記してお仏壇の中をすっきりさせておくのが良い。過去帳には法名、俗名、死んだ年月日、続柄なども記しておく、子孫が偲ぶ手がかりとなる。処分するお仏壇についても同様だ。最近では核家族や単身赴任などで、お仏壇を持たない家が多い。マンションや新築住宅には仏間が見られない。しかしどんなに小さい仏壇であっても安置して、一日の始めと終わりには、手を合わす時間のゆとりを持ちたい。「お仏壇は心の鏡」と昔からいわれる。長年開けられず、埃がかぶって乱雑な仏壇を見れば、家族の精神状態がよく分かる。ご先祖がどんなに苦しい時代も、ずっと守り伝えてきた大切な仏壇。先の東北震災で、被災者たちが瓦

礫の中から、位牌や写真を見つけたときのあの喜びの顔。その瞳の奥には、私のいのちは、決して自分一人のためにあるのではない。ご先祖が守ってくれた。これからもくじけずに力強く生きぬこうという強い意志が感じられた。

### ☆寄稿

四日市市 川崎 孝一

☆我が家でも 断捨離断行 臍帯の在りし筆筒も 先妣よ赦せ

☆震災で 自肅ムードか 観桜の約成らずこれぞ花卉 散る如し

四日市市 秋 妙水

☆百歳の皺 笑えば桜 満開だ

☆藤棚は 蕾ほどけて 咲き始む

☆伊勢湾を 一望するや 菖蒲風呂

### ♪三重組コーラス♪

☆練習は智積西勝寺様で午後1時半・6/7(火)6/27(月)

☆7/7(木)名古屋別院音楽祭・新指導者で。バス9時小杉、桜9時半。千円

### キッズサンガ・杉の子合唱団

☆6月4日(土)午後4時 友達を誘って来てね!夕方5時の鐘撞きは毎日。

### ☆ホットニュース☆

☆(新役員紹介)平成二十三年度門信徒会会長に服部雅之氏、会計に山下真知子様、婦人部長に服部やす子様が選ばれました。よろしくお願ひします。

☆10/15(土)親鸞聖人750回遠忌法要バス参拝、席の余裕がありますので、こぞってお申し込み下さい。当日住職、若院が揃って僧侶として出勤。

☆西本願寺新門様ご夫妻に5月12日ご長男誕生!母子共にご無事とのHP掲載版で発表。ご本山にとっては親鸞聖人750回大遠忌法要の記念すべき年に、将来のご門主さまの誕生のニュース。二重の喜びに包まれ、誠にめでたくございます。

☆三重組仏教講習会 6月14日持光寺様・15日正覚寺様・16日正念寺様・講師貴島信行先生

☆善正寺のホームページ。「三重 善正寺」で検索可。毎日更新の「住職と坊守のつれづれ日記」が好評。長男も若い感覚でブログ投稿。開設2年10か月で4万4千以上・平均1日70アクセス!

☆住職と坊守の2冊目の共著本『鳥の眼・虫の眼・仏の眼』(自照社刊)好評発売中!挿絵は門徒の服部雅之氏

お悔やみ申し上げます

★中山セツ子様(4月28日亡・87歳 東坂部町) 合掌

★川崎文子様(5月8日亡・82歳・名古屋) 合掌

☆ 編集子より ☆ 「善正寺だより」第二一〇号をお届けします。◇東日本大震災の発生から3ヶ月。原発事故の収束に目処が立たず、仮設住宅建設も義援金配分もまだまだという現状に国民の不安感が募る。◇関東大震災後の日本が辿った更なる国難を繰り返してはならない。島本様の詠歌はそんな我々に温かな灯を灯して下さる。念仏者の力に学びたい。

東日本大震災から早三ヶ月目を迎えました。マスコミ報道で震災関連のニュースが流れない日はありません。それどころか、マルトダウンという聞き慣れない言葉も飛び出して原発事故の処理がますます深刻化しています。ところで98歳の詩人柴田トヨ三を、ご存知ですか？彼女が詩作を始めたのは92歳の時、一息子に勧められたのがきっかけです。詩集「くじけないうちは150万部の大ベストセラーになり、印税の100万円と被災者の皆様へ」という詩を贈ったそうです。トヨ三の詩の一部を紹介します。「ねえ不幸だなんて深いため息をつかないで陽射しやそよ風はえこひいきしない夢は平等に見られるのよ 私辛いことがあつたけれど生きていてよかった あなたもくじけないうち」平易な言葉の中、明治、大正、昭和、平成と四つの時代を生き抜いた逞しさと心の温もりが多くの人を惹きつけます。98歳の今も一人暮らしを続けるトヨ三から被災者の皆様へ「人生、朝は必ずやって来ます」と励ましのメッセージが届けられました。私達も自分のできることは何かを考え、それ相当の負担や援助を継続したいと思っております。この本山の70回大遠志法要も6月で第三期目を迎えます。善正寺の団体バス参加は10月15日(土)午後、バス席にまだ余裕があります。50年ほど一度のご縁、ぜひ一緒にお参りさせて頂きますように。新門様ご夫妻にご長男が誕生(冠)され、西本願寺は二重の喜びに包まれています。

合掌

善正寺方守 拝

平成23年6月